

リハビリテーション栄養について

- 入院患者さんへは、看護師や管理栄養士が主観的包括的評価をすることが多いのですが、言語聴覚士・作業療法士・理学療法士からの情報で栄養評価することもあります
- 低栄養の場合、提供栄養量の見直し（エネルギー消費量を考慮し追加）やリハ効果を高めるBCAA等含む栄養補助食品を医師へ提言することもあります

リハ栄養診療ガイドライン2020

脳血管疾患

CQ
リハビリテーションを実施している高齢の脳血管疾患患者に、強化型栄養療法を行うべきか？

リハビリテーションを実施している急性期の高齢の脳血管疾患患者において、感染の合併症を減らし、日常生活活動(ADL)を改善する目的に、強化型栄養療法を行うことを提案する(弱い推奨/エビデンスの確実性:低い)。栄養管理の適切な投与量・経路は、嚥下能力や臓器機能といった個々の状況によって選択すべきで、強化型栄養療法の方法には経口栄養剤や高たんぱく質食品、その他のサプリメントがある。

大腿骨近位部骨折

CQ
リハビリテーションを実施している高齢の大腿骨近位部骨折患者に強化型栄養療法を行うべきか？

リハビリテーションを実施している65歳以上の大腿骨近位部骨折の患者において、死亡率および合併症発症率の低下やADLの改善を目的に、強化型栄養療法を行うことを提案する(弱い推奨/エビデンスの確実性:低い)。

リハビリテーションをがんばるみなさん
栄養は足りていますか？



ガイドラインのダウンロードは以下URLまたはQRより

<https://sites.google.com/site/jsrhnt/リハ栄養診療ガイドライン>

